

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 2 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	26	介護の実施状況がモニタリングする際わかりづらく、日々の記録に充分記載できていない。	ツール作成し、介護計画の実施と日々の記録を連動を見えやすくする。	モニタリングしやすい用紙の作成し、簡潔で記載しやすい内容に変更する。記録の仕方について毎月の合同ミーティングで、話し合い検討する	3～6ヶ月
2	35	火災の避難訓練のみで、他の災害に向けての訓練をしていない。(指定されている避難場所は高齢者には困難)	今年は地震対策について訓練をする。	年に2回(3月、11月)実施し、スタッフ全員参加。2階の方を3階へ(テーブルの下に布団を敷く)移動させ安全を確保する。(備蓄の見直しも同時に行う)	9ヶ月
3		一部入居者様とスタッフとの信頼関係の構築が希薄傾向にある。	入居者様が安心して暮らしていける様、信頼関係の再構築に努める。	スタッフは常に声掛けを行い(同一テーブルで)見守る。一日の中で交流の輪(3時のおやつ時等)を保ち、ニュースなど話題の提供をする。	1ヶ月
4		接遇面での教育が必要な面もある。	スタッフは元気よく挨拶をする。	入居者様、訪問者には笑顔で大きな声であいさつをする。お茶を出す時は、毎回入れ替え気持ちを込める。行動は機敏に、言語は明瞭にする。	1～2ヶ月
5					ヶ月